



2022年度 首長・議員懇談会報告

みやぎ生協・コープふくしまは、宮城県、福島県の首長、宮城県議会議員、仙台市議会議員と地域のメンバー、組合員で年に1回懇談会を開催しています。2022年度の開催状況を報告します。

懇談一覧

	開催数 (昨年)	開催地域 (開催順)	参加者数(人)	
			生協メンバー (昨年)	首長・議員数 (昨年)
首長懇談	38(31) 宮城県 30 福島県 8	(宮城県)栗原市、山元町、七ヶ宿町、気仙沼市、亘理町、涌谷町、名取市、東松島市、丸森町、多賀城市、岩沼市、利府町、加美町、色麻町、角田市、美里町、白石市、大崎市、富谷市、大和町、柴田町、大郷町、大衡村、大河原町、石巻市、松島町、七ヶ浜町、塩竈市、南三陸町、女川町 (福島県)白河市、郡山市、伊達市、棚倉町、矢吹町、桑折町、福島市、新地町	162(133)	38(31)
宮城県議懇談	8(8)	加美、仙台市宮城野区、大崎、遠田、仙台市泉区、太白区、若林区、青葉区	105(103)	18(19)
仙台市議懇談	5(5)	青葉区、宮城野区、泉区、若林区、太白区	96(99)	25(23)
文書回答	1(2)	(宮城県)登米市		
計	52(45)		363(335)	81(73)

【主な懇談内容】（開催月日順）〈首長懇談会〉宮城県、福島県の首長・宮城県議・

〈宮城県〉

栗原市 8月23日 栗原市役所 佐藤智市長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、小野幸恵理事、メンバー4人



市の課題は急速に進む
少子高齢化に対する支
援や取り組みを進めるこ
とです。生協との連携は
包括連携協定や高齢者
見守り協定を引き続き進
めます。移動販売のせい
きょう便も市と連携した
取り組みです。

山元町 9月27日 山元町役場 橋元伸一町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、尾川輝敏専務理事、佐々木英美理事、メンバー6人



新しい町長から町の課題
や今後の取り組みを伺い
ました。幼稚園や小学校、
中学校の給食費の無償化
を検討するなど子育て支
援を進めます。一方高齢
者の見守りや買物支援な
どが課題で、町民バスと
デマンド型乗合タクシー
の見直しに着手しました。

七ヶ宿町 10月24日 七ヶ宿町役場 小関幸一町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、職員3人



コンビニエンス事業や
宅配事業の他に、5月に
こ〜ぶの森が実現し、
ますます生協との連携
が進んでいます。免許
返納後の町内の交通は
タクシー会社1社なので、
通院などに必要なデマ
ンドタクシーの取り組
みを検討していきます。

気仙沼市 10月28日 気仙沼市役所 菅原茂市長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、小野幸恵理事、メンバー5人



女性の雇用環境の創出、
子育てと両立できる職場
等の環境整備に取り組ん
でいきます。今後「人口減
少対策に係る市民会議」
を立ち上げ、市民、企業、
行政とで課題を共有し解
決策を考えていきます。

亘理町 11月4日 亘理町役場 山田周伸町長
みやぎ生協 佐々木英美理事、國久暁生活文化部長、メンバー7人



鳥の海エリアの観光構想「ワ
タトリプルCプロジェクト」
が2021年度からスタート
し、交流人口の拡大や地域
経済の活性化に取り組ん
でいます。2022年10月か
ら子ども医療費助成の所得制
限を撤廃しました。子育て世
代の悩みや不安に対するサ
ポート体制が整っています。

涌谷町 11月9日 涌谷町役場 高橋宏明副町長
みやぎ生協 及川しのぶ理事、國久暁生活文化部長、メンバー4人



2022年4月に過疎地域に
指定されました。それを受け
「涌谷町過疎地域持続的発
展計画」を策定し、人口減少
の抑制と持続的な地域の発
展に資する各種施策を推進
します。高齢者や買い物難
民への解決対策として、せい
きょう便や包括連携協定の
検討について懇談しました。

名取市 11月10日 名取市役所 山田司郎市長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、佐々木英美理事、吉原直美理事、メンバー8人



せいきょう便や高齢者見守
り、生活支援体制整備にか
かる協議体への参加など
生協と連携した事業が順
調に進んでおり、今後も連
携した取り組みを進めてい
くことを話し合いました。子
ども食堂には10万円の支
援をしており、それが地域
支援につながっています。

東松島市 11月10日 みやぎ生協東松島ハーモニー 渥美巖市長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、佐藤ひで子理事、國久暁生活文化部長、メンバー4人



第2次総合後期計画に沿っ
て様々な取り組みを進めてい
ますが、感染症の長期化に伴
う物価高騰などへの対策事業
も進めています。東日本大震
災の防災集団移転事業による
「令和の果樹の花里づくり構
想」を進めており、将来的に
は生協に協力をいただきた
いとのお話がありました。

丸森町 11月11日 丸森町役場 保科郷雄町長
みやぎ生協 佐藤久美子理事、國久暁生活文化部長、メンバー3人



町の基幹産業である農業
生産に関して、資材や飼
料の高騰により経営が大
変な生産者に対し、農業
生産費高騰対策事業を
進めています。また、東日
本台風災害による被災者
生活再建支援制度を含
めた、町の生活再建につ
いてお話がありました。

多賀城市 11月11日 多賀城市役所 深谷晃祐市長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、石垣八重美理事、菊地由香里理事、メンバー2人



2024年に多賀城創建1300
年になることから、記念事業
として、歴史や文化、先人の
暮らしなど様々な文化プロ
グラムを展開しています。高齢
者の消費者トラブルが増え
ており、相談窓口やトラブル
防止のチラシやポスターを
生協の店舗に掲示するなど
話し合いが行われました。

仙台市議とメンバー、組合員が懇談し、よりよい地域づくりにつなげています。

※首長名とみやぎ生協参加者名は懇談時点のものです。

岩沼市 11月14日 岩沼市役所 佐藤淳一市長
みやぎ生協 佐々木英美理事、國久暁生活文化部長、メンバー8人



新しい市長から岩沼未来構想の計画をお聞きました。犯罪に巻き込まれない「安全安心で快適なまちづくり」を柱に「住みたい住み続けたい町づくり」を推進します。生協とは高齢者の見守り協定や災害時の物資供給協定を結んでおり、今後も連携した取り組みを続けて行くことを確認しました。

美里町 12月2日 美里町役場 相澤清一町長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、及川しのぶ理事、メンバー7人



町の40%が高齢者となり、単身世帯や障がい者も多くなっていることから、警備保障会社と連携して高齢者の見守りを行っています。生協とも高齢者見守り協定を締結しており、今後も連携した取り組みとして進めていきます。

利府町 11月21日 利府町役場 熊谷大町長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、石垣八重美理事、菊地由香里理事、メンバー3人



現在町民は36,000人ですが、市政移行50,000人を目指しています。子育てに優しい町として認知されていますが、20代の女性が他市町、他県に移住していくなどの課題があります。生協とはせいぎょう便が増便されたこともあり、今後も連携した取り組みを進めていくことを確認しました。

白石市 12月7日 白石市役所 山田裕一市長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、佐藤久美子理事、メンバー3人



2023年4月に不登校特例校「白石市立白石南小学校・白石南中学校(通称:白石きぼう学園)」を開校します。それぞれの個に応じた学びを実施していきます。生協とはせいぎょう便や子育て支援の共同イベントの実施を引き続き行いたいと思います。

加美町 11月21日 加美町役場 猪股洋文町長
みやぎ生協 及川しのぶ理事、國久暁生活文化部長、メンバー6人



総合計画「加美町笑顔幸福プラン」では人と自然が共生する持続可能なまちづくりを推進していきます。再生可能エネルギー発電設備設置に関して、2022年3月に「加美町自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」を制定しました。

大崎市 12月7日 みやぎ生協古川南店 伊藤康志市長
みやぎ生協 及川しのぶ理事、國久暁生活文化部長、メンバー11人



世界農業遺産「大崎耕土」とSDGsの目標と連動しながら、持続可能な地域づくりを実現する取り組みを推進しています。生協とは包括連携協定を締結しており、引き続き連携した取り組みを進めていきたいと思います。

色麻町 1月22日 色麻町役場 早坂利悦町長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、及川しのぶ理事、メンバー3人



高齢化率が35%を超え、高齢者福祉の充実が重要であると同様に、少子化対策も不可欠です。その取り組みとして、子育て支援事業や移住・定住事業、結婚相談事業を行っています。

富谷市 12月13日 みやぎ生協明石台店 若生裕俊市長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、信山澄重理事、メンバー8人



包括連携協定の締結や「富谷市2050年ゼロカーボン戦略」の策定で生協と連携しています。新たに「乳児見守りおむつ等お届け便事業」を生協に委託しました。子育て世帯への経済的負担軽減や子育ての不安解消につなげます。

角田市 11月24日 角田市役所 黒須貫市長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、佐藤久美子理事、メンバー3人



10年後の都市像を見据え、まちづくりの3つの重点プロジェクトを推進しています。生協とは今後、災害協定や包括連携協定が締結できるように検討していきます。

大和町 12月16日 みやぎ生協大富店 浅野元町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、信山澄重理事、メンバー5人



大規模自然災害等へのリスクを減らすための地域づくりを推進しています。人口減少・少子高齢化によるコミュニティの低下が課題です。大富店がデマンドタクシーの指定乗降場所となり、連携した取り組みとなりました。

【主な懇談内容】（開催月日順）〈首長懇談会〉宮城県、福島県の首長・宮城県議・

〈宮城県〉

柴田町 1月17日 柴田町役場 滝口茂町長
みやぎ生協 尾川輝敏専務理事、佐藤久美子理事、メンバー3人



出生届を出した住民にすくすく箱をお知らせしたり、せいきょう便やフードドライブなど生協と連携できることを検討していきたいと思います。定年の延長に伴い地域のコミュニティが崩壊しており、生協のような組織がないと自治体だけで進めることが難しくなっています。

大郷町 1月17日 大郷町役場 田中学町長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、菊地由香里理事、メンバー4人



令和元年東日本台風の被災者が入居できる災害公営住宅が完成しました。今後も防災コミュニティセンターの建設や避難路の整備など復興まちづくりを進めていきます。

大衡村 1月18日 大衡村役場 萩原達雄村長
みやぎ生協 信山澄重理事、國久暁生活文化部長、メンバー1人



待機児童ゼロや給食費の無償化、スクールバスなど子育て支援に重点を置いています。課題は村内に買物できる施設がないことです。生協との連携は包括連携協定を検討したいと思います。

大河原町 1月20日 大河原町役場 齋清志町長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、佐藤久美子理事、メンバー2人



現時点で人口減少にはなっていませんが、将来を見据えた課題を2市7町と手をつないで進めていきたいと思います。生協とは災害協定を締結し、防災に関して大河原店と連携しています。

石巻市 1月23日 石巻市役所 齋藤正美市長
みやぎ生協 佐藤ひで子理事、菅野久美子生活文化部長、メンバー14人



県が公表した新たな津波浸水想定を踏まえ、地域防災と避難計画を見直し2023年度には新しい津波ハザードマップを作成します。生協とは包括連携協定を締結しており、今後も連携事項に基づき具体化していない取り組みを推進していきたいと思います。

松島町 1月31日 松島町役場 櫻井公一町長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、菊地由香里理事、メンバー3人



2023年度に新たに認定こども園が開園します。保育士不足や保育ニーズの多様化など課題は多いですが、少子化対策や定住促進など進めていきます。生協とは高齢者見守り協定の締結や、すくすく箱や宅配事業の周知を図るなど連携した取り組みを行っています。

七ヶ浜町 2月2日 七ヶ浜町役場 寺澤薫町長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、菊地由香里理事、メンバー4人



新たな防災計画やハザードマップの配布を行っています。大規模自然災害への対策や人口減少、地域コミュニティの再生、市域公共交通対策が町の課題です。生協とは高齢者見守り協定や災害協定を締結しており、今後も連携した取り組みを行っています。

塩釜市 2月3日 塩釜市役所 佐藤光樹市長
みやぎ生協 小澤義春常務理事、菊地由香里理事、メンバー2人



高齢化率が34%となり高齢者の見守り支援事業を行っています。また「塩釜市こどもほっとスペースづくり支援事業助成金」に取り組み、子育て支援事業を進めています。

南三陸町 2月7日 南三陸町役場 佐藤仁町長
みやぎ生協 小野幸恵理事、菅野久美子生活文化部長、メンバー4人



人口減少が課題です。ふるさと納税を利用し給食費を無償化し、子育て支援の一環とします。次世代の人材育成のための新たな塾を立ち上げます。生協とは包括連携協定を締結していますが、今後も連携した取り組みを継続していきます。

女川町 2月28日 女川町役場 須田善明町長
みやぎ生協 河野雪子副理事長、佐藤ひで子理事、メンバー3人



交通弱者への取り組みの強化や2市1町でSDGsの取り組みを行っています。町で行っているフードドライブの取り組みや子ども食堂など情報交換や連携できる活動を進めていきたいと思います。

仙台市議とメンバー、組合員が懇談し、よりよい地域づくりにつなげています。

※首長名とみやぎ生協参加者名は懇談時点のものです。

〈福島県〉

白河市 12月2日 白河市役所 圓谷光昭副市長
コープふくしま 高田由喜理事、根本茂ふくしま県本部課長、組合員2人



高齢者サービスに関する冊子の全世帯への配布や、子育てガイドブックを母子手帳と一緒に配布しています。生協とは高齢者や親子に向けた企画での連携や、子育てガイドブックの広告欄にすくすくばこやココイッククラブを掲載するなど生協の取り組みなどを進めていければと思います。

郡山市 12月27日 郡山市役所 品川萬里市長
コープふくしま 尾川輝敏専務理事、穴戸義広執行役員、野崎玲子理事、森下幸代理事、組合員2人



重点としている「ベビーファースト運動」は「安心して生まれ育つまち」を目指しています。2023年度にむけ学校給食の無償化を計画、子どもの衣・食・文化・教育に力を入れています。懇談を機に生協のすくすくばこのチラシを保健師さんが直接家庭に配布することの他に、子育て企画の共催や広報など連携した取り組みを今後進めます。

伊達市 1月26日 伊達市役所 須田博行市長
コープふくしま 穴戸義広執行役員、菅野優子理事、組合員4人



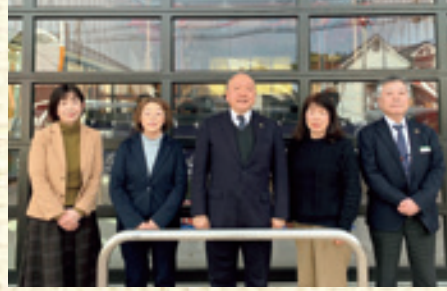
妊娠時から子育ての孤立を防ぐサポートを重視しすくすくばこのチラシも配布をしています。避難情報や気象情報などをお知らせする「防災アプリ」の活用拡大のために生協のお店2店舗で出前講座を開催します。「コキアはたけ」の学校で市が後援を行うなど連携した取り組みを今後も進めます。

棚倉町 1月31日 棚倉町役場 湯座一平町長
コープふくしま 穴戸義広執行役員、高田由喜理事、組合員3人



75歳以上の1人暮らしの高齢者が520人程います。特に男性の高齢者のコミュニティや居場所・役割発揮のできる活動や場所を町と連携して行うことを今後進めていきたいと思います。生協の絵本キャラバンも2023年度は町で後援、会場を提供し6月に開催します。

矢吹町 2月2日 矢吹町複合施設ココット 蛭田泰昭町長
コープふくしま 穴戸義広執行役員、高田由喜理事、組合員4人



保育園待機児童ゼロや小中学校の給食費を半額にするなど、子育て支援に取り組んでいます。買い物難民を支援するためにコミュニティバスの運行をしています。矢吹あゆり祭(町民文化祭)では、さらに生協とのつながりの意識をもって取り組みをすすめていきたいと思っています。昨年好評だった絵本キャラバンも開催する予定です。

桑折町 2月10日 桑折町役場 高橋宣博町長
コープふくしま 穴戸義広執行役員、菅野優子理事、組合員2人



11月の健康イベント「こおりヘルスアップDAY」に生協も出展し、連携した取り組みとなりました。また懇談を機に災害物資に関する協定を4月に締結しました。今後は「桑折町SDGs推進町民会議」において連携した取り組みを期待しています。7月にイコーゼで絵本キャラバンに取り組みます。

福島市 2月17日 福島市役所 木幡浩市長
コープふくしま 尾川輝敏専務理事、穴戸義広執行役員、岡崎香織理事、菅野優子理事、組合員3人



重点としている「子どものえがお条例」は地域も行政も一緒になって、子どもを持つことが祝福される社会を目指しています。道の駅ふくしまの子育て施設や学習支援センターなどで、生協と連携してイベントの企画を進めています。また、子育て支援の協定を結び、様々な取り組みを進めたいと思います。まずは道の駅ふくしまで、絵本キャラバンを開催します。

新地町 2月22日 新地町役場 大堀武町長
コープふくしま 尾川輝敏専務理事、菅野優子理事、組合員2人



一年以上前にスーパーが撤退、3人に1人が高齢者、町の交通網の不足などにより買い物困難の問題解消が重要な課題です。震災後からコープおいたとのつながりが継続しており、大分と新地町の子どものふれあいを今後も計画しています。2019年に高齢者見守り協定を締結しています。今後も様々な課題解消に向けてつながりをつくりながら連携した取り組みにしたいと思います。

〈文書回答〉

宮城県登米市

最優先課題の取り組みは近年多発している災害対策です。防災・危機管理体制の見直しや、原子力災害への備えとして避難計画の確保に取り組んでいます。環境保全の取り組みとして「省エネルギー活動の推進」や「新エネルギー利用の推進」を市民や事業者と一体になって進め、2050年までに「ゼロカーボンシティ」を目指します。



〈宮城県議会議員懇談会〉

加 美 11月18日 加美やくらい文化センター
高橋啓議員

みやぎ生協

小澤義春常務理事、及川しのぶ理事、メンバー9人



災害に強い地域づくりとして名蓋川流域の水害対策に取り組んでいます。記録的大雨災害により被災した河川の整備だけではなく、流域治水の考え方を取り入れた復旧方法にするべきです。

仙台市宮城野区 1月11日 みやぎ生協高砂駅前店
大内真理議員、佐々木奈津江議員

みやぎ生協

安達泉理事、石垣八重美理事、齋藤裕美理事、佐藤淑子理事、國久暁生活文化部長、メンバー9人



軍事費を5年かけて43兆円増やしていくようですが、これは復興特別所得税などが財源になります。10月には200万円以下の所得がある75歳以上の高齢者の医療費の窓口負担が2割になりました。今後は介護保険の改定も行われていきますが、現在介護を受けている方が受けられなくなる可能性があります。

大崎・遠田 1月11日 みやぎ生協古川南店

(大崎)菊地恵一議員、佐々木賢司議員、佐藤仁一議員、中島源陽議員、(遠田)佐々木功悦議員

みやぎ生協

小澤義春常務理事、及川しのぶ理事、メンバー13人



物価高騰に関する一時的な支援も重要ですが、地域経済の発展も大事です。酪農家や米農家の飼料・肥料代の高騰問題を考えると、土地改良を行い循環型農業を進めていくことが重要で、食料自給率を上げていくことにつながっていきます。

仙台市泉区 1月23日 みやぎ生協黒松店

庄田圭佑議員

みやぎ生協

齊藤秋花理事、齋藤裕美理事、信山澄重理事、メンバー8人



脱炭素のために再生可能エネルギーは大切ですが、県は林地開発を伴う発電に課税する条例を検討しています。平地の未利用地に誘導し地域と共生するエネルギー創出を促進するのが狙いです。

仙台市太白区 1月23日 カメイアリーナ仙台

石田一也議員、岸田清実議員、横山のぼる議員、わたなべ拓議員

みやぎ生協

藤本富江理事、吉原直美理事、國久暁生活文化部長、メンバー39人



物価高騰やエネルギー価格の高騰により、事業に影響がでている施設に補助をする物価高騰対策事業を行っています。医療機関や高齢者施設、農業従事者などが対象となっています。また、2024年度からは実験等で光熱費がかかる大学の工学部への助成も行います。

仙台市若林区 1月24日 みやぎ生協南小泉店

福島かずえ議員、三浦ななみ議員

みやぎ生協

安達泉理事、國久暁生活文化部長、メンバー15人



コロナ禍により地域コミュニティが薄くなり民生委員や保健師の負担が大きくなっています。仙台市と白石市以外は子どもの医療費が18歳まで無料となっています。子育て支援に対して一人一人が声を上げていくことが大きな力になります。

仙台市青葉区 1月24日 みやぎ生協柏木店

遠藤伸幸議員、金田もとる議員、菅間進議員

みやぎ生協

小澤義春常務理事、石川宣子理事、齊藤秋花理事、齋藤裕美理事、佐藤淑子理事、メンバー12人



太陽光発電の設置基準条例はできましたが、風力発電に関しては国の基準となっています。エネルギーの地産地消を進め、エネルギーの転換を図っていくべきだと思います。太陽光発電パネルの再利用を県としても進めていく予定です。



〈仙台市会議員懇談会〉

青葉区

12月12日 みやぎ生協柏木店

鎌田城行議員、郷古正太郎議員、佐藤わか子議員、すげの直子議員、ひぐちのりこ議員、村上千恵子議員

みやぎ生協

石川宣子理事、齊藤秋花理事、齊藤裕美理事、佐藤淑子理事、國久暁生活文化部長、メンバー9人



近隣の利府町や富谷市などが給食費を無償にするとのことで、仙台市にも今後そのような要望が出てくると考えられますが、市は年間42億円かかるとしています。保育士が不足していますが、これは給料が低く働く意欲がなくなり辞めてしまうことも要因にあります。補助金など保育士の働く環境を整えていかなければならないと思います。

若林区

1月24日 みやぎ生協南小泉店

猪又隆広議員、佐藤正昭議員、庄司あかり議員、菅原正和議員、竹中栄雄議員

みやぎ生協

安達泉理事、國久暁生活文化部長、メンバー14人



震災やコロナ禍により子どもの体力は低下していて、宮城県の子どもは肥満の傾向にあります。子どもが遊ぶことができる場の提供が重要となっており、現在、平日だけですが小学校の校庭を開放するよう検討しています。

宮城野区

1月11日 みやぎ生協高砂駅前店

辻隆一議員、山下純議員、渡辺敬信議員、渡辺博議員

みやぎ生協

安達泉理事、石垣八重美理事、齊藤裕美理事、佐藤淑子理事、國久暁生活文化部長、メンバー7人



物価高騰による影響が大きい高齢者福祉施設等に対して、2022年7月から2023年3月まで市独自の支援として食材料費の助成事業を行っています。また、非課税世帯に対し水道料金や下水道使用料の減免措置を行っています。

太白区

1月30日 カメイアリーナ仙台

嵯峨サダ子議員、佐々木心議員、鈴木広康議員、千葉修平議員、沼沢しんや議員

みやぎ生協

藤本富江理事、吉原直美理事、國久暁生活文化部長、メンバー51人



コロナウイルス感染症の後遺症外来を作るのは簡単ではないですが、まずは相談窓口を拡充し、専門の窓口を開設することは出来ます。懇談会終了後の2月3日に仙台市フォロアップセンターにコロナ後遺症の相談窓口が開設されました。

泉区

1月23日 みやぎ生協黒松店

安孫子雅浩議員、石川建治議員、斎藤範夫議員、ふるくぼ和子議員、細野たかし議員

みやぎ生協

齊藤秋花理事、齊藤裕美理事、信山澄重理事、菅野久美子生活文化部長、メンバー15人



泉区は市内の5区の中で一番人口が減り少子高齢化となっています。これで大学が移転すると交通機関にも大きな影響がでます。子育て支援策として、18歳まで医療費、給食費の無償化はすぐにでもやるべきと考えます。



2022年度首長・議員懇談会のまとめ

1. 宮城では昨年同様30自治体の懇談となりました。福島では8自治体の開催で大きく前進し、生協の事業や組合員活動を知っていただくことができました。
2. 懇談を機に宮城県大和町のデマンドバスが大富店に停車することになり、連携した取り組みが進みました。
3. 宮城と福島の数自治体で包括連携協定の締結に向けて話し合いが進んでいます。福島県桑折町とは懇談会終了後4月に「災害時応急生活物資供給協定」を締結しました。
4. 仙台市議懇談会でコロナ後遺症外来の設置について懇談したところ、設置はすぐには難しいということでしたが、懇談の一週間後に仙台市フォローアップセンターにコロナ後遺症の相談窓口を開設してもらうことができました。
5. 宮城は首長から自治体の個別課題や取り組みについてお話を伺いました。多くの自治体で少子化や人口減少の課題があげられました。また、物価高騰により影響のある福祉施設や農業従事者、住民などに対して様々な助成が行われていることがわかりました。
6. 福島では絵本プロジェクトやフードドライブなどの組合員活動や子育て支援について話し合われ、連携した取り組みを今後も進めることを確認しました。

宮城県での懇談テーマ

「誰もが安心してくらす地域づくり」をテーマの中心において、一緒にくらしやすいまちづくりをみんなで考えます。みやぎ生協の活動を伝え、地域で共に取り組めること、くらしの向上のために連携できることを話し合います。

1. 「誰もが安心してくらす地域づくり」のために、自治体の課題や困りごとを伺います。くらしの向上のために連携できることや、生協としてお役立ちできることを話し合います。
 - (1) 自治体が行っている計画や課題、困りごとなどについて首長からお話を伺います。
 - (2) くらしの向上のために、生協と連携できることやお役立ちできることを話し合います。
2. 自分の住むまちの良いところや地域で多くの人が困っている現状や、解決して欲しい要望を伝え、自治体と一緒に力を合わせて取り組むことなどを話し合います。

※福島県はテーマを設定せずに、地域の課題や取り組みについて懇談しました。



みやぎ生協・コープふくしま